

2025 年 10 月 1 日
双日株式会社

企業広告「挑むが、価値。2025」を出稿

～次のステージに向け、新たな仲間と共演～

双日株式会社(以下「双日」)は、2026 年春入社予定者の内定式に合わせ、内定者と、当社会長の藤本と社長の植村が共演する企業広告「挑むが、価値。2025」を日本経済新聞朝刊(10 月 1 日付全国版)に出稿しました。

双日は、中期経営計画 2026 において、向かう先のターゲットとして「Next Stage」を掲げ、企業価値の 2 倍成長を目指しています。商社において、成長の原動力となるのは社員一人ひとりであり、人材戦略を成長戦略の中心に据えています。本広告は、次世代を担う内定者と会長、社長が同じステージに登壇することで、次のステージに向け共に成長を目指す覚悟と、世界を舞台に挑む若き仲間を迎えられる喜びを表現しています。本テーマでの当社広告は 2024 年度に続き 2 回目の出稿です。

双日は、多様な人材を活かし、「個」の挑戦・成長を推進することで、組織の成長、さらには会社の成長につなげ、持続的な価値創造を実現していきます。



【企業広告「挑むが、価値。2025」】

【広告コンセプト】

私たちが先人たちから受け継いだ DNA、それは挑み続ける企業であること。

挑むことには、それ自体に価値がある。私たち双日は、価値づくりの物語を描き続ける総合商社でありたい。

挑むが勝ち。挑むが、価値。